定期検査報告書の作成について

（建築設備編）

「令和７年７月１日」

（一財）なら建築住宅センター

はじめに

本冊子は、一般財団法人　日本建築設備・昇降機センター発行の「建築設備定期検業務基準書」（2016 年版）を基に作成したものです。定期検査報告書の作成に役立てていただければ幸いです。

なお、本冊子は、当センターのホームページよりダウンロードすることもできます。

また、「特定建築物編」、「防火設備編」につきましては、別冊を参考にしてください。

目　　次

		頁
1	定期検査報告書の記載について	・・・ 1
2	検査結果表（換気設備）の記載について 別表１、別表２、関係写真	・・・ 6
3	検査結果表（排煙設備）の記載について 別表３、別表３－２、別表３－３、関係写真	・・・11
4	検査結果表（非常用の照明装置）の記載について 別表４、関係写真	・・・19
5	「３年以内ごとに行う検査項目の年度別実施状況表」について	・・・23
6	定期検査報告書の綴り方について	・・・24

関係告示

建築設備（昇降機を除く。）の定期検査報告における検査及び定期点検における点検の項目、事項、方法及び結果の判定基準並びに検査結果表については、平成 20 年 3 月 10 日　国土交通省告示第 285 号により定められています。

本冊子は、上記告示の「最終改正　令和 6 年国土交通省告示第 974 号（施行日　令和 7 年 7 月 1 日）」に基づいて作成しています。

定期検査報告書の様式については、当センターのホームページよりダウンロードできます。

※当センターのホームページから最新版ご利用下さい。

一般財団法人なら建築住宅センターホームページ　https://www.zainara-kjc.net/

1　定期検査報告書の記載について

台帳番号	奈	B	―	0000

第三十六号の六様式（第六条、第六条の二の二関係）（Ａ４）

一般財団法人　なら建築住宅センター

定期検査報告書
（建築設備（昇降機を除く。））

（第一面）

建築基準法第12条第３項の規定により、定期検査の結果を報告します。この報告書に記載の事項は事実に相違ありません。
特定行政庁　　**〇〇　市長**　様

令和　**〇**年　**〇**月　**〇**日

報告者氏名　**△△△△病院　院長　設備　次郎**

検査者氏名　**飛鳥　三郎**

【1．所有者】
【イ．氏名のフリガナ】**ｲﾘｮｳﾎｳｼﾞﾝ　ﾘｼﾞﾁｮｳ　ｹﾝﾁｸ　ﾀﾛｳ**
【ロ．氏名】**医療法人△△△△　理事長　建築　太郎**
【ハ．郵便番号】**〇〇〇ー〇〇〇〇**
【ニ．住所】**〇〇市〇〇町１－１**
【ホ．電話番号】**〇〇〇〇ー〇〇ー〇〇〇〇**

【2．管理者】
【イ．氏名のフリガナ】**ﾋﾞｮｳｲﾝ　ｲﾝﾁｮｳ　ｾﾂﾋﾞ　ｼﾞﾛｳ**
【ロ．氏名】**△△△△病院　院長　設備　次郎**
【ハ．郵便番号】**□□□－□□□□**
【ニ．住所】**□□市□□町２－２**
【ホ．電話番号】**□□□□－□□－□□□□**

【3．報告対象建築物】
【イ．所在地】**△△市△△町３－３**
【ロ．名称のフリガナ】**ﾋﾞｮｳｲﾝ**
【ハ．名称】**△△△△病院**
【ニ．用途】**病　院**

【4．検査による指摘の概要】
【イ．指摘の内容】☑要是正の指摘あり（□既存不適格）　□指摘なし
【ロ．指摘の概要】**換気扇の汚れによる換気量不足、非常用照明の球劣化による照度不足**
【ハ．改善予定の有無】☑有（令和　〇年**３**月に改善予定）　□無
【ニ．その他特記事項】**特になし**

※受付欄	※特記欄	※整理番号欄
令和　年　月　日	様式B9_250701 様式E9_250701	
第　　号		
係員氏名		

台帳番号は、案内文書に記載された番号を記入してください

提出先の特定行政庁に合わせて記入してください。（奈良市長、橿原市長、生駒市長のいずれかになります。）

提出日を記入してください。（検査終了日から６０日以内にセンターあてに報告してください）

建築物の管理者を記入してください。
また、所有者と管理者が異なる場合は「管理者の氏名」を報告者氏名の欄に記入して下さい。
（令和３年１月１日より報告者及び検査者の押印は不要になりました。）

フリガナも記入してください

（第二面）の６欄、１０欄、１４欄の各「イ」において「□要是正の指摘あり」に「レ」点マークを入れた場合、この欄にも「レ」点マークを入れてください。

既存不適格に「レ」点マークが入るのは、（第二面）の６欄、１０欄、１４欄の各「イ」で要是正の指摘ありがすべて既存不適格の場合のみで、「既存不適格」とそれ以外の要是正の指摘が混在するときは、□内「レ」点マークを入れないでください。

（第二面）の６欄、１０欄、１４欄の各「ロ」に記入した指摘を記入してください
記入欄が不足する場合は、別紙を作成し添付してください。
敷地内に複数棟がある場合は、棟ごとに記入してください。また、棟数が多い場合で記入出来ないときは、別紙を作成して添付してください。「既存不適格」の項目については、当該欄への記入が不要です。
また、「既存不適格」の項目を記入した場合は（　）書きをしてください。

（第二面）の６欄、１０欄、１４欄の「ハ」に記入した改善予定年月のうち最も早いものを記入してください。

□無に「レ」点マークが入るのは、要是正の指摘の内容が全て既存不適格の建築物である場合に限ります。

指摘された事項以外に、特に報告すべき事項があれば記入してください。

一般財団法人　なら建築住宅センター

（第二面）

建築設備の状況等

【1. 建築物の概要】
【イ. 階数】　地上　３　階　地下　０　階
【ロ. 建築面積】　651.35　㎡
【ハ. 延べ面積】　1583.60　㎡
【ニ. 検査対象建築設備】☑換気設備　☑排煙設備　☑非常用の照明装置
☐給水設備及び排水設備

【2.確認済証交付年月日等】
【イ. 確認済証交付年月日】　平成　5年　10月　20日　第　0001　号
【ロ. 確認済証交付者】　☑建築主事等　☐指定確認検査機関（　　）
【ハ. 検査済証交付年月日】　平成　6年　10月　15日　第　0001　号
【ニ. 検査済証交付者】　☑建築主事等　☐指定確認検査機関（　　）

【3. 検査日等】
【イ. 今回の検査】　令和　○年　9月　10日実施
【ロ. 前回の検査】☑実施（令和　○年　10月　11日報告）　☐未実施　☐今回初検査
【ハ. 前回の検査に関する書類の写し】☑有　☐無　☐対象外

【4. 換気設備の検査者】
（代表となる検査者）
【イ. 資格】（　１級　）建築士　（　大臣　）登録　第　326521　号
建築設備検査員　第　号
【ロ. 氏名のフリガナ】ｱｽｶ　ｻﾌﾞﾛｳ　（奈設備　2000　号）
【ハ. 氏名】　飛鳥　三郎
【ニ. 勤務先】　ＡＳＵＫＡ　建築事務所
（　１級　）建築士事務所　（奈良県）知事登録第（い）－10　号
【ホ. 郵便番号】○○○－○○○○
【ヘ. 所在地】　○○市○○町１００番地－１　○○ビル２階
【ト. 電話番号】０７４２－○○－○○○○
（その他の検査者）
【イ. 資格】（　　）建築士　（　　）登録　第　　号
建築設備検査員　第Ｄ90999999号
【ロ. 氏名のフリガナ】ｶｽｶﾞ　ｺﾞﾛｳ　（奈設備　5000　号）
【ハ. 氏名】　春日　五郎
【ニ. 勤務先】　株式会社　○○○設備
（　　）建築士事務所　（　　）知事登録第　　号
【ホ. 郵便番号】○○○－○○○○
【ヘ. 所在地】　○○市○○町２００番地－２
【ト. 電話番号】０７５－○○○－○○○○

【5. 換気設備の概要】
【イ. 無窓居室】☐自然換気設備（　系統　室）　☑機械換気設備（２系統　３室）
☐中央管理方式の空気調和設備（　系統　室）
☐その他（　系統　室）　☐無
【ロ. 火気使用室】☐自然換気設備（　系統　室）　☑機械換気設備（２系統　２室）
☐その他（　系統　室）　☐無
【ハ. 居室等】☐自然換気設備（　系統　室）　☐機械換気設備（　系統　室）
☐中央管理方式の空気調和設備（　系統　室）
☐その他（　系統　室）　☑無
【ニ. 防火ダンパーの有無】☑有　☐無

【6. 換気設備の検査の状況】
【イ. 指摘の内容】　☑要是正の指摘あり（☐既存不適格）　☐指摘なし
【ロ. 指摘の概要】　換気扇の汚れによる換気量不足
【ハ. 改善予定の有無】☑有（令和　○年　3月に改善予定）　☐無

【7. 換気設備の不具合の発生状況】
【イ. 不具合】　☑ 有　☐無
【ロ. 不具合記録】☑有　☐無
【ハ. 改善の状況】☑実施済　☐改善予定（令和　年　月に改善予定）　☐予定なし

[注]この第二面は、対象となる建物ごとに作成してください

敷地内に報告対象の棟が複数ある場合は、この欄に棟名（棟番号）を記入してください。
また、報告書（第二面）～（第三面）、検査結果表、別表、関係写真等は各棟ごとに作成してください。

建築面積・延べ面積を記入してください。（特定建築物の定期調査報告書の記載面積と整合しているか確認してください）

検査の対象となる設備のみ「レ」点マークを入れてください。

直近の確認済証について記入してください。（特定建築物の定期調査報告書の記載内容と整合しているか確認してください。）

直近の確認済証に対する検査済証について記入してください。（特定建築物の定期調査報告書の記載内容と整合しているか確認してください。）

今回の検査の終了日を記入してください。

前回の検査報告日（報告書提出日）を記入してください。

今回初検査とは、検査済証交付後に免除の年度が過ぎ、初めての検査対象年度に該当する場合、又は法改正等により初めて検査対象年度に該当する場合です。

未実施とは既に報告年度に達しているが以前に報告をしていない場合です。

対象外とは、報告の対象となっていない場合です。

前回の定期検査の結果を記録した書類の保存の有無について記入してください。

検査者が１人の場合は記入する必要はありません。
（その他の検査者（有資格者です）が２人以上の場合は別紙に記入し添付してください）

【イ. 無窓居室】とは、建築基準法第２８条第２項に基づく、換気の為の有効な開口面積がその居室の床面積の20分の１未満となる居室です。
【ロ. 火気使用室】とは、建築基準法第２８条第３項に基づく、建築物の調理室、浴室、その他の室で、かまど、こんろ、その他火を使用する室です。
【ハ. 居室等】とは、建築基準法第２８条第３項に基づく、劇場、映画館、集会所等の別表第一（い）欄（一）項に掲げる用途に供する特殊建築物の居室です。また、これらの特殊建築物以外の居室で、任意で設置された機械換気設備は含まれません。

室数は、別表1,2と整合しているか確認してください。

防火区画を貫通する「防火ダンパー」の有無を記入してください。（延焼の恐れある部分の防火ダンパーは含みません。）

別記第一号様式の検査結果表（換気設備）において、是正が必要と認められるときは、「☐要是正の指摘あり」に「レ」点マークをいれてください。

指摘の内容を記入してください。「既存不適格」の項目については、当該欄の記入が不要です。また、「既存不適格」の項目を記入した場合は（　）書きをしてください。

指摘をうけた項目について改善予定があるときは、☐有に「レ」点マークを入れ、予定年月を記入してください。

不具合が有れば、☐有に「レ」点マークを入れ、その記録及び改善の状況欄にも「レ」点マークを入れてください。不具合が無ければ、☐無に「レ」点マークを入れてください。
[注]不具合が有れば（第三面）の「建築設備に係る不具合の状況」の添付が必要です。

※不具合とは、前回の検査時以降から今回の検査までの間で、管理者等から保守管理の状況について聞き取り調査を行い把握した、換気設備の機器の故障、異常動作、劣化損傷等に起因するもので、設備が本来満たすべき機能に重大な支障を及ぼすもの。

一般財団法人　なら建築住宅センター

【8．排煙設備の検査者】
（代表となる検査者）
【イ．資格】　（　**１級**　）建築士　（　**大臣**　）登録第　**３２６５２１**　号
建築設備検査員　第　号
【ロ．氏名のフリガナ】**ｱｽｶ　ｻﾌﾞﾛｳ**　（奈設備　**２０００**　号）
【ハ．氏名】　**飛鳥　三郎**
【ニ．勤務先】　**ＡＳＵＫＡ　建築事務所**
（　**１級**　）建築士事務所　（**奈良県**）知事登録第　**（い）－１０**　号
【ホ．郵便番号】**○○○－○○○○**
【ヘ．所在地】　**○○市○○町１００番地－１　○○ビル２階**
【ト．電話番号】**０７４２－○○－○○○○**
（その他の検査者）
【イ．資格】　（　　）建築士　（　　）登録第　　号
建築設備検査員　第**Ｄ９０９９９９９９**号
【ロ．氏名のフリガナ】**ｶｽｶﾞ　ｺﾞﾛｳ**　（奈設備　**５０００**　号）
【ハ．氏名】　**春日　五郎**
【ニ．勤務先】　**株式会社　○○○設備**
（　　）建築士事務所　（　　）知事登録第　　号
【ホ．郵便番号】**○○○－○○○○**
【ヘ．所在地】　**○○市○○町２００番地－２**
【ト．電話番号】**０７５－○○○－○○○○**

この欄は【４．換気設備の検査者】に準じて記入してください
＊排煙設備が無い場合は【８】～【１１】欄は記入不要です。

【9．排煙設備の概要】
【イ．避難安全検証法等の適用】☐階避難安全検証法（　　階）　☐全館避難安全検証法
☐区画避難安全検証法（　　階）　☐その他（　　）
【ロ．特別避難階段の階段室又は付室】　☐吸引式（　　区画）　☐給気式（　　区画）
☐加圧式（　　区画）　☑無
【ハ．非常用エレベーターの昇降路又は乗降ロビー】
☐吸引式（　　区画）　☐給気式（　　区画）
☐加圧式（　　区画）　☑無
【ニ．非常用エレベーターの乗降ロビーの用に供する付室】
☐吸引式（　　区画）　☐給気式（　　区画）
☐加圧式（　　区画）　☑無
【ホ．居室等】　☑吸引式（　**３**区画）　☐給気式（　　区画）　☐無
【ヘ．予備電源】☐蓄電池　☑自家用発電装置　☐直結エンジン　☐その他（　　）

検証法の適用がある場合は記入してください。

特別避難階段・非常用エレベーターの設置がない場合は☐無に「レ」点マークを入れてください。

種別と区画数を記入してください。

【10．排煙設備の検査の状況】
【イ．指摘の内容】　☑要是正の指摘あり（☐既存不適格）　☐指摘なし
【ロ．指摘の概要】　**排煙口の排煙風量不足**
【ハ．改善予定の有無】☑有（令和　○年　**３**月に改善予定）　☐無

別記第二号様式の検査結果表（排煙設備）において、是正が必要と認められるときは、「☐要是正の指摘あり」に「レ」点マークをいれて、ロ及びハ欄に記入してください。

不具合が有れば、☐有に「レ」点マークを入れ、その記録及び改善の状況欄にも「レ」点マークを入れてください。不具合が無ければ、☐無に「レ」点マークを入れてください。
[注]不具合が有れば（第三面）の「建築設備に係る不具合の状況」の添付が必要です。

【11．排煙設備の不具合の発生状況】
【イ．不具合】　☑有　☐無
【ロ．不具合記録】☑有　☐無
【ハ．改善の状況】☑実施済　☐改善予定（令和　　年　　月に改善予定）　☐予定なし

※不具合とは、前回の検査時以降から今回の検査までの間で、管理者等から保守管理の状況について聞き取り調査を行い把握した、排煙設備の機器の故障、異常動作、劣化損傷等に起因するもので、設備が本来満たすべき機能に重大な支障を及ぼすもの。

【12．非常用の照明装置の検査者】
（代表となる検査者）
【イ．資格】　（　**１級**　）建築士　（　**大臣**　）登録第　**３２６５２１**　号
建築設備検査員　第　号
【ロ．氏名のフリガナ】**ｱｽｶ　ｻﾌﾞﾛｳ**　（奈設備　**２０００**　号）
【ハ．氏名】　**飛鳥　三郎**
【ニ．勤務先】　**ＡＳＵＫＡ　建築事務所**
（　**１級**　）建築士事務所　（**奈良県**）知事登録第　**（い）－１０**　号
【ホ．郵便番号】**○○○－○○○○**
【ヘ．所在地】　**○○市○○町１００番地－１　○○ビル２階**
【ト．電話番号】**０７４２－○○－○○○○**
（その他の検査者）
【イ．資格】　（　　）建築士　（　　）登録第　　号
建築設備検査員　第　号
【ロ．氏名のフリガナ】　（奈設備　　号）
【ハ．氏名】
【ニ．勤務先】
（　　）建築士事務所　（　　）知事登録第　　号
【ホ．郵便番号】
【ヘ．所在地】
【ト．電話番号】

この欄は【４．換気設備の検査者】に準じて記入してください
＊非常用の照明設備が無い場合は【１２】～【１５】欄は記入不要です。

【13．非常用の照明装置の概要】
【イ．照明器具】☑白熱灯（２０灯）　☑蛍光灯（１０灯）　☑ＬＥＤ（　３灯）
□その他（　　灯）
【ロ．予備電源】☑蓄電池（内蔵形）（居室　２０灯、廊下１０灯、階段　３灯）
□蓄電池（別置形）（居室　　灯、廊下　　灯、階段　　灯）
□自家用発電装置（居室　　灯、廊下　　灯、階段　　灯）
□蓄電池(別置形)・自家発電装置併用（居室　　灯、廊下　　灯、階段　　灯）
□その他（　　）

照明器具の種別ごとに、灯数を記入してください。
[注]ミニハロゲン電球は、「高輝度放電灯」ではなく「白熱灯」に含まれます。
「高輝度放電灯」は、平成２２年告示改正で削除され適合する器具はありません。

予備電源の種別を選び、設置されている場所ごとに、灯数を記入してください。

【14．非常用の照明装置の検査の状況】
【イ．指摘の内容】　☑要是正の指摘あり（□既存不適格）　□指摘なし
【ロ．指摘の概要】　**球劣化による照度不足**
【ハ．改善予定の有無】☑有（令和　〇年　３月に改善予定）　□無

別記第三号様式の検査結果表（非常用の照明装置）において、是正が必要と認められるときは、「□要是正の指摘あり」に「レ」点マークをいれてください。

指摘の内容を記入してください。「既存不適格」の項目については、当該欄への記入が不要です。
また、「既存不適格」の項目を記入した場合は（　）書きをしてください。

【15．非常用の照明装置の不具合の発生状況】
【イ．不具合】　☑有　□無
【ロ．不具合記録】☑有　□無
【ハ．改善の状況】☑実施済　□改善予定（令和　　年　　月に改善予定）　□予定なし

指摘をうけた項目について改善予定があるときは、□有に「レ」点マークを入れ、予定年月を記入してください。

不具合が有れば、□有に「レ」点マークを入れ、その記録及び改善の状況欄にも「レ」点マークを入れてください。不具合が無ければ、□無に「レ」点マークを入れてください。
[注]不具合が有れば（第三面）の「建築設備に係る不具合の状況」の添付が必要です。

※不具合とは、前回の検査時以降から今回の検査までの間で、管理者等から保守管理の状況について聞き取り調査を行い把握した、非常用の照明装置の機器の故障、異常動作、劣化損傷等に起因するもので、設備が本来満たすべき機能に重大な支障を及ぼすもの。

【16．給水設備及び排水設備の検査者】
（代表となる検査者）
【イ．資格】　（　　）建築士　（　　）登録第　　号
建築設備検査員　第　　号
【ロ．氏名のフリガナ】　（奈設備　　号）
【ハ．氏名】
【ニ．勤務先】
（　　）建築士事務所　（　　）知事登録第　　号
【ホ．郵便番号】
【ヘ．所在地】
【ト．電話番号】
（その他の検査者）
【イ．資格】　（　　）建築士　（　　）登録第　　号
建築設備検査員　第　　号
【ロ．氏名のフリガナ】　（奈設備　　号）
【ハ．氏名】
【ニ．勤務先】
（　　）建築士事務所　（　　）知事登録第　　号
【ホ．郵便番号】
【ヘ．所在地】
【ト．電話番号】

※ 奈良県においては、給水設備及び排水設備は検査対象外です。
【１６】～【１９】欄は記入しないで下さい。

【17．給水設備及び排水設備の概要】
【イ．飲料水の配管設備】□給水タンク（　　基　　㎥）　□貯水タンク（　　基　　㎥）
□その他（　　）
【ロ．排水設備】　□排水槽（□汚水槽　□雑排水槽　□合併槽　□雨水槽・湧水槽）
□排水再利用配管設備　□その他（　　）
【ハ．圧力タンクの有無】□有　□無
【ニ．給湯方式】　□局所式　□中央式
【ホ．湯沸器】　□開放式燃焼器　□半密閉式燃焼器　□密閉式燃焼器
□その他（　　）

【18．給水設備及び排水設備の検査の状況】
【イ．指摘の内容】　□要是正の指摘あり（□既存不適格）　□指摘なし
【ロ．指摘の概要】
【ハ．改善予定の有無】□有（令和　　年　　月に改善予定）　□無

【19．給水設備及び排水設備の不具合の発生状況】
【イ．不具合】　□有　□無
【ロ．不具合記録】□有　□無
【ハ．改善の状況】□実施済　□改善予定（令和　　年　　月に改善予定）　□予定なし

【20．備考】

（第三面）

建築設備に係る不具合の状況

一般財団法人　なら建築住宅センター

[注]前回の検査以降にどの設備においても不具合を把握していない場合は、第三面は添付する必要はありません。

【1. 換気設備】

不具合を把握した年月	不具合の概要	考えられる原因	改善(予定)年月	改善措置の概要等
令和　〇年４月	**給湯室の換気扇が作動しない**	**換気扇の故障**	**令和〇年５月**	**換気扇の交換**

【2. 排煙設備】

不具合を把握した年月	不具合の概要	考えられる原因	改善(予定)年月	改善措置の概要等

【3. 非常用の照明装置】

不具合を把握した年月	不具合の概要	考えられる原因	改善(予定)年月	改善措置の概要等
令和　〇年３月	**点検スイッチを切替しても点灯しない**	**蓄電池の経年劣化**	**令和〇年４月**	**蓄電池の交換**

【4. 給水設備及び排水設備】

不具合を把握した年月	不具合の概要	考えられる原因	改善(予定)年月	改善措置の概要等

前回の検査時以降に把握した建築設備に係る不具合のうち、今回の検査報告書の**（第二面）の６欄、１０欄、１４欄において、指摘されるもの以外のもの**について把握できる範囲において記入してください。

不具合を把握した年月を記入してください。

不具合の箇所を特定した上で、不具合の具体的な内容を記入してください。

不具合が生じた原因として、考えられるものを記入してください。

・既に改善を実施している場合は、実施年月日を記入してください。
・改善予定がある場合は、その年月を記入してください。
・改善を行う予定がない場合は、「－」を記入してください。

既に改善を実施している場合、または行う予定がある場合には、具体的措置を記入してください。
また、改善を行う予定がない場合には、その理由を記入してください。

【４．給水設備及び排水設備】の欄は記入不要です。

※不具合とは、前回の検査時以降から今回の検査までの間で、管理者等から保守管理の状況について聞き取り調査を行い把握した、設備の機器の故障、異常動作、劣化損傷等に起因するもので、設備が本来満たすべき機能に重大な支障を及ぼすもの。

２　検査結果表（換気設備）の記載について

別記第一号（Ａ４）

一般財団法人　なら建築住宅センター

検査結果表（換気設備）

結果表の検査項目で赤字は令和7年7月施行

		氏　名	検査者番号
当該検査に関与した検査者	代表となる検査者	飛鳥　三郎	A
	その他の検査者	春日　五郎	B

番号	検査項目			対象外項目	検査結果 指摘なし	検査結果 要是正	検査結果 既存不適格	担当検査者番号
1	法第28条第2項又は第3項の規定に基づき換気設備が設けられた居室（換気設備を設けるべき調理室等を除く。）							
(1)	機械換気設備	機械換気設備（中央管理方式の空気調和設備を含む。）の外観	給気機の外気取入口並びに直接外気に開放された給気口及び排気口への雨水の侵入等の防止措置の状況		○			A
(2)			給気機の外気取入口及び排気機の排気口の取付けの状況		○			A
(3)			各居室の給気口及び排気口の設置位置		○			A
(4)			各居室の給気口及び排気口の取付けの状況		○			A
(5)			風道の取付けの状況		○			A
(6)			風道の材質		○			A
(7)			給気機又は排気機の設置の状況		○			A
(8)			換気扇による換気の状況		○			A
(9)			各居室の給気口及び排気口における物品の放置の状況		○			A
(10)		機械換気設備（中央管理方式の空気調和設備を含む。）の性能	各居室の換気量	○				
(11)			中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況	○				
(12)	中央管理方式の空気調和設備	空気調和設備の主要機器及び配管の外観	空気調和設備の設置の状況	○				
(13)			空気調和設備及び配管の劣化及び損傷の状況	○				
(14)			空気調和設備の運転の状況	○				
(15)			空気ろ過器の点検口	○				
(16)			冷却塔と建築物の他の部分との離隔距離	○				
(17)		空気調和設備の性能	各居室の温度	○				
(18)			各居室の相対湿度	○				
(19)			各居室の浮遊粉じん量	○				
(20)			各居室の一酸化炭素含有率	○				
(21)			各居室の二酸化炭素含有率	○				
(22)			各居室の気流	○				
2	換気設備を設けるべき調理室等							
(1)	自然換気設備及び機械換気設備	排気筒、排気フード及び煙突の材質			○			A
(2)		排気筒、排気フード及び煙突の取付けの状況			○			A
(3)		給気口、給気筒、排気口、排気筒、排気フード及び煙突の大きさ			○			A
(4)		給気口、排気口及び排気フードの位置			○			A
(5)		給気口、給気筒、排気口、排気筒、排気フード及び煙突の設置の状況			○			A
(6)		排気筒及び煙突の断熱の状況			○			A
(7)		排気筒及び煙突と可燃物、電線等との離隔距離			○			A
(8)		煙突等への防火ダンパー、風道等の設置の状況		○				
(9)		各居室の給気口及び排気口における物品の放置の状況			○			A

[注]この検査結果表は、対象となる建物ごとに作成してください。

検査者が1人の場合は、検査者番号等の記入は不要です。

検査した結果、指摘が無ければ、「指摘なし」の欄に○印を記入してください。

［注］換気扇の機器不良について記載する欄ではありませんので、ご注意ください。
機器の不良等につきましては、次頁の「特記事項」の欄に記載してください。

該当しない検査項目がある場合は「対象外項目」の欄に○印を記入してください。

１（１０）～（１１）、（１７）～（２２）は「３年以内毎に行う検査項目」に該当しており、今回検査を実施しなかった場合は「対象外項目」の欄に○印を記入してください。

１（１０）対象項目の場合は、＜別表　１＞を添付してください。

［注］　壁付換気のみで換気し、排気ダクト、煙突がない場合は、２（１），（２），（６），（７），（８），（１１）の検査項目は「対象外項目」の欄に○印を記入してください。

番号	検査項目		対象外項目	検査結果 指摘なし	検査結果 要是正	検査結果 既存不適格	担当検査者番号
(10)	自然換気設備	煙突の先端の立ち上がりの状況（密閉型燃焼器具の煙突を除く。）	○				
(11)	機械換気設備	煙突に連結した排気筒及び半密閉式瞬間湯沸器等の設置の状況	○				
(12)		換気扇による換気の状況		○			B
(13)		給気機又は排気機の設置の状況		○			B
(14)		機械換気設備の換気量			○		B
3	**法第28条第2項又は第3項の規定に基づき換気設備が設けられた居室**						
(1)	防火ダンパー等（外壁の開口部で延焼の恐れのある部分に設けるのもを除く）	防火ダンパーの設置の状況		○			A
(2)		防火ダンパーの取付けの状況		○			A
(3)		防火ダンパーの作動の状況		○			A
(4)		防火ダンパーの劣化及び損傷の状況		○			A
(5)		防火ダンパーの点検口の有無及び大きさ並びに検査口の有無		○			A
(6)		防火ダンパーの温度ヒューズ		○			A
(7)		壁及び床の防火区画貫通部の措置の状況		○			A
(8)		連動型防火ダンパーの煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器の位置	○				
(9)		連動型防火ダンパーの煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器との連動の状況	○				
4	**上記以外の検査項目等**						

特記事項

番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善（予定）年月
2 －（12）	**機械換気設備の換気量**	**換気扇の汚れによる換気量不足**	**換気扇の掃除**	令和 ○ 年 3 月
－（　）				令和　年　月
－（　）				令和　年　月
－（　）				令和　年　月
－（　）				令和　年　月
－（　）				令和　年　月
－（　）				令和　年　月
－（　）				令和　年　月
－（　）				令和　年　月

２（１０）自然換気設備は検査対象外です。（奈良県内の各特定行政庁毎に定められている法施行細則による）

２（１１）煙突に連結している排気筒等の器具が対象となります。

［注］換気扇の機器不良について記載する欄ではありませんので、ご注意ください。
　機器の不良等につきましては、次頁の「特記事項」の欄に記載してください。

検査した結果、要是正の指摘がある場合には、「要是正」の欄に○印を記入し、特記事項の欄にその内容等を記入してください。

※要是正とされた検査項目等（既存不適格の場合は除く）については、
要是正とされた部分の写真を、別添の様式に従い添付してください。

２（１４）対象項目の場合は、＜別表　２＞を添付してください。

防火区画を貫通する防火ダンパーとし、外壁延焼ラインの防火ダンパーは含みません。
（延焼ラインの防火ダンパーは、特建調査項目の　２（５）で調査する）

［注］感知器連動防火ダンパーがない場合は「対象外項目」に○印を記入してください。

特定行政庁が定める検査項目等の追加が無いので、記入不要です。

検査の結果、要是正の指摘があった場合は、全ての検査項目について記入しください。
（記入欄が不足する場合は、特記事項別紙に記入し、添付してください）

改善予定年月を記入してください

改善策の内容等を記入してください。

具体的な内容、状態を記入してください。

検査項目を記入してください。

その他の報告として特記すべき事項がある場合は記入してください。
（その場合、番号、検査項目の欄は記入しないでください）
　※換気扇の汚れ等で将来的に換気量不足になる恐れがあるときは当該欄に記載してください。

検査項目番号を記入してください。

別表１　法第28条第２項又は第３項に基づき換気設備が設けられた居室（換気設備を設けるべき調理室等を除く。）の換気状況評価表（Ａ４）

測定年月日	令和 ○ 年 ○ 月 ○○ 日	測定機器 メーカー名	○○○○	型式番号等	△△△△

階	室名		必要有効換気量（㎥／h）	換気方式	換気設備機種名 注1)	換気状況の評価 注2)（㎥／h）	判定
1	Ａ室	□□年度実施済	100	一種 二種 三種	天井扇		指摘なし ・ 要是正
1	Ｂ室	□□年度実施済	200	一種 二種 三種	天井扇		指摘なし ・ 要是正
2	Ｃ室	今年度実施	300	一種 二種 三種	天井扇	400	指摘なし ・ 要是正
2	Ｄ室	今年度実施	400	一種 二種 三種	天井扇	300	指摘なし ・ 要是正
3	Ｅ室	未実施	500	一種 二種 三種	換気扇		指摘なし ・ 要是正
3	Ｆ室	未実施	600	一種 二種 三種	換気扇		指摘なし ・ 要是正
				一種 ・ 二種 ・ 三種			指摘なし ・ 要是正
				一種 ・ 二種 ・ 三種			指摘なし ・ 要是正
				一種 ・ 二種 ・ 三種			指摘なし ・ 要是正
				一種 ・ 二種 ・ 三種			指摘なし ・ 要是正
				一種 ・ 二種 ・ 三種			指摘なし ・ 要是正
				一種 ・ 二種 ・ 三種			指摘なし ・ 要是正
				一種 ・ 二種 ・ 三種			指摘なし ・ 要是正
				一種 ・ 二種 ・ 三種			指摘なし ・ 要是正
				一種 ・ 二種 ・ 三種			指摘なし ・ 要是正

注1）室ごとに単独の換気扇がある場合など、換気設備が特定されている場合は、その名称を記入する。
注2）「換気状況の評価」欄には、外気取入口における風量測定を行うことが最も確実であり、換気量測定を行った場合は、その測定結果を記入する。
これに代わる方法として、各室の二酸化炭素濃度の測定を行い、居住者数と測定値に矛盾がないか確認する等を行った場合には、その結果を記入する。

[注]このページは記入例であり、他のページとの整合性はありません。

※別表１は、「３年以内ごとに行う検査項目」で報告年度が２年目の場合の記入例を示します。

判定は報告年度に測定した室のみ記入してください。

換気状況の評価は測定風速から算出し、または、二酸化炭素含有率の測定値で報告年度に測定した室のみ記入してください。

一種とは、給気・排気とも強制的に行う方式
二種とは、給気を強制的にし、排気を自然とする方式
三種とは、給気を自然とし、排気を強制的とする方式

必要換気量は該当する全ての室を記入してください。
[注]必要換気量の算出方法は、「2016年版　建築設備定期検査業務基準書」Ｐ.96　一・（十）各室の換気量の［解説］を参照してください。

測定した年度を記入してください。

室名欄は（第二面）５-イ及びハにおいて室数の全ての室名を記入してください。

※建築基準法第２８条第２項及び第３項により、設置義務のある換気設備以外で設置している場合

別表２　換気設備を設けるべき調理室等の換気風量測定表（Ａ４）

使用ガス　都市ガス　・　プロパンガス

測定年月日	令和　○　年　○　月　○○　日		測定機器メーカー名	○○○○		型式番号等	△△△△	
室番（場所）	使用器具	発熱量(kW)	換気型式(n)	必要有効換気量（㎥/h）	開口面積(㎡)	測定風速注)(m/s)	測定風量（㎥/h）	判　定
1階　湯沸室	ガスコンロ　1口	3	40・30・20・2	112	0.09	0.8	259	指摘なし・要是正
2階　湯沸室	ガスコンロ　1口	3	40・30・20・2	112	0.09	0.3	97	指摘なし・要是正
3階　食堂	ガスコンロ　2口	6	40・30・20・2					指摘なし・要是正
	給湯器　5号	11	40・30・20・2					指摘なし・要是正
	合計	17	40・30・20・2	316	0.09	1.2	389	指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正

注）「測定風速」欄には、原則的に測定した箇所の平均風速を記入する。

［注］このページは記入例であり、他のページとの整合性はありりません。

※別表２は、毎回全数の測定が必要です。

換気型式の選択（強制給排気型：ＦＦ方式を除く）
- ４０：換気フードが無い場合、または、換気フード（１）型及び（２）型の要件を満たさない場合
- ３０：換気フード（１）型「2016年版　建築設備定期検査業務基準Ｐ.132 参照
- ２０：換気フード（２）型　同上
- ２：煙突

発熱量は、各ガス器具の銘板表示より確認してください。
確認出来ない場合は「2016年版　建築設備定期検査業務基準書」Ｐ.152　表2.4.14（発熱量）参考値を参照

合計とは１ヶ所のフードで複数の器具の排気を行っている場合、まとめて判定してください。

室番（場所）は（第二面）５-ロにおいて、室数の全ての室名を記入してください。

別添様式　関係写真（Ａ４）

［注］要是正等がない場合は、この様式は添付する必要はありません。

関係写真（換気設備）

部位	番号	検査項目等	検査結果
	２（１４）	**機械換気設備の換気量**	☑要是正　□その他

特記事項

換気扇の汚れに
による換気量不
足

「レ」点マークを入れてください。

指摘の具体的内容等を記入してください。

検査項目を記入してください。

検査項目番号を記入してください。

部位	番号	検査項目等	検査結果
			□要是正　□その他

特記事項

（注意）

① この書類は、検査の結果「要是正」かつ「既存不適格」ではない項目等について作成してください。また、「既存不適格」及び「指摘なし」の項目等についても、特記すべき事項があれば、必要に応じて作成してください。「要是正」の項目等がない場合は、この書類は省略しても構いません。

② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。

③ 「部位」欄の「番号」、「検査項目等」は、それぞれ別記第一号様式から第四号様式の番号、検査項目等に対応したものを記入してください。

④ 「検査結果」欄は、検査の結果、要是正の指摘があった場合は「要是正」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、それ以外の場合で特記すべき事項がある場合は「その他」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。

⑤ 写真は、当該部位の外観の状況が確認できるように撮影したものを添付してください。

３　検査結果表（排煙設備）の記載について

別記第二号（Ａ４）

一般財団法人　なら建築住宅センター

検査結果表（排煙設備）

結果表の検査項目で赤字は令和7年7月施行

当該検査に関与した検査者		氏　名	検査者番号
	代表となる検査者	飛鳥　三郎	A
	その他の検査者	春日　五郎	B

[注]この検査結果表は、対象となる建物ごとに作成してください。

検査者が1人の場合は、記入は不要です。

番号	検査項目			対象外項目	検査結果 指摘なし	要是正	既存不適格	担当検査者番号
1	令第123条第３項第２号に規定する階段室又は付室、令第129条の13の3第13項に規定する昇降路又は乗降ロビー、令第126条の２第１項に規定する居室等							
(1)	排煙機	排煙機の外観	排煙機の設置の状況		○			A
(2)			排煙風道との接続の状況		○			A
(3)			煙排出口の設置の状況		○			A
(4)			煙排出口の周囲の状況		○			A
(5)			屋外に設置された煙排出口への雨水等の防止措置の状況		○			A
(6)		排煙機の性能	排煙口の開放と連動起動の状況		○			B
(7)			作動の状況		○			B
(8)			電源を必要とする排煙機の予備電源による作動の状況		○			B
(9)			排煙機の排煙風量		○			B
(10)			中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況	○				
(11)	排煙口	機械排煙設備の排煙口の外観	排煙口の位置		○			A
(12)			排煙口の周囲の状況		○			A
(13)			排煙口の取付けの状況		○			A
(14)			手動開放装置の周囲の状況		○			A
(15)			手動開放装置の操作方法の表示の状況		○			A
(16)		機械排煙設備の排煙口の性能	手動開放装置による開放の状況		○			B
(17)			排煙口の開放の状況		○			B
(18)			排煙口の排煙風量	○				
(19)			中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況	○				
(20)			煙感知器による作動の状況		○			B
(21)	排煙風道	機械排煙設備の排煙風道（隠蔽部分及び埋設部分を除く。）	排煙風道の劣化及び損傷の状況		○			A
(22)			排煙風道の取付けの状況		○			A
(23)			排煙風道の材質		○			A
(24)			防煙壁の貫通措置の状況		○			A
(25)			排煙風道と可燃物、電線等との離隔距離及び断熱の状況		○			A
(26)		防火ダンパー（外壁の開口部で延焼の恐れのある部分に設けるのもを除く）	防火ダンパーの取付けの状況		○			A
(27)			防火ダンパーの作動の状況		○			A
(28)			防火ダンパーの劣化及び損傷の状況		○			A
(29)			防火ダンパーの点検口の有無及び大きさ並びに検査口の有無		○			A
(30)			防火ダンパーの温度ヒューズ		○			A
(31)			壁及び床の防火区画貫通部の措置の状況（防火ダンパーが令第112条第20項に規定する準耐火構造の防火区画を貫通する部分に近接する部分に設けられている場合に限る）		○			A

検査した結果、指摘が無ければ、「指摘なし」の欄に○印を記入してください。

該当しない検査項目がある場合は「対象外項目」の欄に○印を記入してください。

１（１８），（１９）は「３年以内毎に行う検査項目」に該当しており、今回検査を実施実施
しなかった場合は「対象外項目」の欄に○印を記入してください。

１（９）、（１８）対象項目の場合は、別表３を添付してください。

番号	検査項目			対象外項目	検査結果 指摘なし	要是正	既存不適格	担当検査者番号
(32)	特殊な構造の排煙設備	特殊な構造の排煙設備の排煙口及び給気口の外観	排煙口及び給気口の大きさ及び位置	○				
(33)			排煙口及び給気口の周囲の状況	○				
(34)			排煙口及び給気口の取付けの状況	○				
(35)			手動開放装置の周囲の状況	○				
(36)			手動開放装置の操作方法の表示の状況	○				
(37)		特殊な構造の排煙設備の排煙口の性能	排煙口の排煙風量	○				
(38)			中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況	○				
(39)			煙感知器による作動の状況	○				
(40)		特殊な構造の排煙設備の給気風道（隠蔽部分及び埋設部分を除く。）	給気風道の劣化及び損傷の状況	○				
(41)			給気風道の材質	○				
(42)			給気風道の取付けの状況	○				
(43)			防煙壁の貫通措置の状況	○				
(44)		特殊な構造の排煙設備の給気送風機の外観	給気送風機の設置の状況	○				
(45)			給気風道との接続の状況	○				
(46)		特殊な構造の排煙設備の給気送風機の性能	排煙口の開放と連動起動の状況	○				
(47)			作動の状況	○				
(48)			電源を必要とする給気送風機の予備電源による作動の状況	○				
(49)			給気送風機の給気風量	○				
(50)			中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況	○				
(51)		特殊な構造の排煙設備の給気送風機の吸込口	吸込口の設置位置	○				
(52)			吸込口の周囲の状況	○				
(53)			屋外に設置された吸込口への雨水等の防止措置の状況	○				
2	**令第123条第３項第2号に規定する階段室又は付室、令第129条の13の３第13項に規定する昇降路又は乗降ロビー**							
(1)	特別避難階段の階段室又は付室及び非常用エレベーターの昇降路又は乗降ロビーに設ける排煙口及び給気口		排煙機、排煙口及び給気口の作動の状況	○				
(2)			給気口の周囲の状況	○				
(3)	加圧防排煙設備	排煙風道（隠蔽部分及び埋設部分を除く。）	排煙風道の劣化及び損傷の状況	○				
(4)			排煙風道の取り付けの状況	○				
(5)			排煙風道の材質	○				
(6)		給気口の外観	給気口の周囲の状況	○				
(7)			給気口の取り付けの状況	○				
(8)			給気口の手動開放装置の周囲の状況	○				
(9)			給気口の手動開放装置の操作方法の表示の状況	○				
(10)		給気口の性能	給気口の手動開放装置による開放状況	○				
(11)			給気口の開放状況	○				
(12)		給気風道（隠蔽部分及び埋設部分を除く。）	給気風道の劣化及び損傷の状況	○				
(13)			給気風道の取り付け状況	○				
(14)			給気風道の材質	○				
(15)		給気送風機の外観	給気送風機の設置の状況	○				
(16)			給気風道との接続の状況	○				

※前ページと同様に記入してください。

１（３７）、（４９）対象項目の場合は、＜別表３−２＞を添付してください。

１（３７），（３８）は「３年以内毎に行う検査項目」に該当しており、今回検査を実施しなかった場合は「対象外項目」の欄に〇印を記入してください。

番号	検査項目			対象外項目	検査結果 指摘なし	検査結果 要是正	検査結果 既存不適格	担当検査者番号
(17)		給気送風機の性能	給気口の開放と連動起動の状況	○				
(18)			給気送風機の作動の状況	○				
(19)			電源を必要とする給気送風機の予備電源による作動の状況	○				
(20)			中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況。	○				
(21)		給気送風機の吸込口	吸込口の設置位置	○				
(22)			吸込口の周囲の状況	○				
(23)			屋外に設置された吸込口への雨水等の防止措置の状況	○				
(24)		遮煙開口部の性能	遮煙開口部の排出風速	○				
(25)		空気逃し口の外観	空気逃し口の大きさおよび位置	○				
(26)			空気逃し口の周囲の状況	○				
(27)			空気逃し口の取付けの状況	○				
(28)		空気逃し口の性能	空気逃し口の作動の状況	○				
(29)		圧力調整装置の外観	圧力調整装置の大きさ及び位置	○				
(30)			圧力調整装置の周囲の状況	○				
(31)			圧力調整装置の取付けの状況	○				
(32)		圧力調整装置の性能	圧力調整装置の作動の状況	○				
3	**令第126条の２第１項に規定する居室等**							
(1)	可動防煙壁	手動降下装置の作動の状況		○				
(2)		手動降下装置による連動の状況		○				
(3)		煙感知器による連動の状況		○				
(4)		可動防煙壁の材質		○				
(5)		可動防煙壁の防煙区画		○				
(6)		中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況		○				
4	**予備電源**							
(1)	自家用発電装置	自家用発電装置等の状況	自家用発電機室の防火区画等の貫通措置の状況		○			A
(2)			発電機の発電容量		○			A
(3)			発電機及び原動機の状況		○			A
(4)			燃料油、潤滑油及び冷却水の状況		○			B
(5)			始動用の空気槽の圧力		○			B
(6)			セル始動用蓄電池及び電気ケーブルの接続の状況		○			B
(7)			燃料及び冷却水の漏洩の状況		○			B
(8)			計器類及びランプ類の指示及び点灯の状況		○			B
(9)			自家用発電装置の取付けの状況		○			B
(10)			自家用発電機室の給排気の状況（屋内に設置されている場合に限る）		○			B
(11)			接地線の接続の状況		○			B
(12)			絶縁抵抗		○			B

２（２４）対象項目の場合は、＜別表３－３＞を添付してください。

検査した結果、要是正の指摘がある場合には、「要是正」の欄に○印を記入し、特記事項の欄にその内容等を記入してください。

＊要是正とされた検査項目等（既存不適格の場合は除く）については、要是正とされた部分の写真を、別添の様式に従い添付してください

番号	検査項目			対象外項目	検査結果 指摘なし	検査結果 要是正	検査結果 既存不適格	担当検査者番号
(13)		自家用発電装置の性能	電源の切替えの状況		○			B
(14)			始動の状況		○			B
(15)			運転の状況		○			B
(16)			排気の状況		○			B
(17)			コンプレッサー、燃料ポンプ、冷却水ポンプ等の補機類の作動の状況		○			B
(18)	直結エンジン	直結エンジンの外観	直結エンジンの設置の状況	○				
(19)			燃料油、潤滑油及び冷却水の状況	○				
(20)			セル始動用蓄電池及び電気ケーブルの接続の状況	○				
(21)			計器類及びランプ類の指示及び点灯の状況	○				
(22)			給気部及び排気管の取付けの状況	○				
(23)			Ｖベルト	○				
(24)			接地線の接続の状況	○				
(25)			絶縁抵抗	○				
(26)		直結エンジンの性能	始動及び停止並びに運転の状況	○				
5	上記以外の検査項目等							

特記事項

番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善（予定）年月
－（　）				令和　　年　　月
－（　）				令和　　年　　月
－（　）				令和　　年　　月
－（　）				令和　　年　　月

特定行政庁が定める検査項目等の追加が無いので、記入不要です。

検査の結果、要是正の指摘があった場合は、全ての検査項目について記入してください。
（記入欄が不足する場合は、特記事項別紙に記入し、添付してください）

改善策の内容等を記入してください。

改善予定年月を記入してください。

具体的な内容、状態を記入してください。

検査項目を記入してください。

その他の報告として特記すべき事項がある場合は記入してください。
（その場合、番号、検査項目の欄は記入しないでください）

検査項目番号を記入してください。

別表３　排煙風量測定記録表（Ａ４）注1）

測定年月日	令和 ○ 年 ○ 月○○日	測定機器　メーカー名	○○○○	型式番号等	△△△△

1	排煙機系統(機器番号等)	排煙機銘板表示	排煙機の規定風量
	ＳＭＦ－１	○-△△-××	最大防煙区画面積　300 ㎡　×　1　or　2　＝　600 ㎥ /min

2	排　煙　口						判　定
	階	室　名	排煙口面積 (㎡)	測定風速 (m/s)注2)	測定風量 (㎥ /min)	規定風量 (㎥ /min)	
	1	Ａ室　□□年度実施済	0.2			110	指摘なし ・ 要是正
	1	Ｂ室　□□年度実施済	0.3			160	指摘なし ・ 要是正
	2	Ｃ室　今年度実施	0.3	9.2	166	150	指摘なし ・ 要是正
	2	Ｄ室　今年度実施	0.3	7.5	135	200	指摘なし ・ 要是正
	3	Ｅ室　未実施	0.4			300	指摘なし ・ 要是正
							指摘なし ・ 要是正
							指摘なし ・ 要是正
							指摘なし ・ 要是正
							指摘なし ・ 要是正
							指摘なし ・ 要是正

3	排　煙　機					判　定
	排煙機　(番号等)	排煙出口面積 (㎡)	測定風速 (m/s)注2)	測定風量 (㎥ /min)	規定風量 (㎥ /min)	
	ＳＭＦ－１	1	11	660	600	指摘なし ・ 要是正

4	直結エンジン(内燃エンジン)の有無	予備電源又は直結エンジン切り替え
	有　・　無	指摘なし　・　要是正

5	排煙口配置・系統図　(排煙機と排煙口の対応関係がわかる図を記入すること)

注1）本記録表は、排煙機系統ごとに記入する。
注2）「測定風速」欄には、原則として測定した箇所の平均風速を記入する。
注3）自主点検等による排煙風量測定記録がある場合は、実施時期、測定方法、
　　測定値等が適正であるか否かを判定すること。

［注］このページは記入例であり、他のページとの整合性はありません。

※別表３の排煙口は、「３年以内ごとに行う検査項目」で報告年度が２年目の場合の記入例を示します。

※別表３は排煙機が複数設置されている場合、排煙機の系統毎に別表３を作成してください。

判定は報告年毎に測定した排煙区画のみ記入してください。

規定風量は該当するすべての排煙区画を記入してください。

測定風量は測定風速により算出し、報告年度に測定した室のみ記入してください。

系統図が枠内に記入できない場合は別紙を作成し添付してください。

測定風速は報告年度に測定した年度を記入してください。

測定した年度を記入してください。

室名欄は（第二面）９-ロ～ホにおいて該当する排煙区画数の全てを記入してください。

排煙機の風量測定及び判定は毎年必要です。

別添様式　関係写真（Ａ４）

[注]要是正等がない場合は、この様式は添付する必要はありません。

関係写真（排煙設備）

部位	番号	検査項目等	検査結果
			□要是正　　□その他
			特記事項

部位	番号	検査項目等	検査結果
			□要是正　　□その他
			特記事項

（注意）

① この書類は、検査の結果「要是正」かつ「既存不適格」ではない項目等について作成してください。また、「既存不適格」及び「指摘なし」の項目等についても、特記すべき事項があれば、必要に応じて作成してください。「要是正」の項目等がない場合は、この書類は省略しても構いません。

② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。

③ 「部位」欄の「番号」、「検査項目等」は、それぞれ別記第一号様式から第四号様式の番号、検査項目等に対応したものを記入してください。

④ 「検査結果」欄は、検査の結果、要是正の指摘があった場合は「要是正」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、それ以外の場合で特記すべき事項がある場合は「その他」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。

⑤ 写真は、当該部位の外観の状況が確認できるように撮影したものを添付してください。

４　検査結果表（非常用の照明装置）の記載について

別記第三号（Ａ４）

一般財団法人　なら建築住宅センター

検査結果表（非常用の照明装置）

結果表の検査項目で赤字は令和7年7月施行

		氏　名	検査者番号
当該検査に関与した検査者	代表となる検査者	飛鳥　三郎	
	その他の検査者		

番号	検査項目			対象外項目	検査結果 指摘なし	要是正	既存不適格	担当検査者番号
1	照明器具							
(1)	非常用の照明器具	使用電球、ランプ等			○			
(2)		照明器具の取付けの状況			○			
2	電池内蔵形の蓄電池、電源別置形の蓄電池及び自家用発電装置							
(1)	予備電源	予備電源への切替え及び器具の点灯の状況並びに予備電源の性能			○			
(2)	照度	照度の状況				○		
(3)		照明の妨げとなる物品の放置の状況			○			
(4)	分電盤	非常用電源分岐回路の表示の状況			○			
(5)	配線	配電管等の防火区画の貫通措置の状況（隠蔽部分及び埋設部分を除く。）			○			
3	電源別置形の蓄電池及び自家用発電装置							
(1)	配線	照明器具の取付けの状況及び配線の接続の状況（隠蔽部分及び埋設部分を除く。）		○				
(2)		電気回路の接続の状況		○				
(3)		接続部（幹線分岐及びボックス内に限る。）の耐熱処理の状況		○				
(4)		予備電源から非常用の照明器具間の配線の耐熱処理の状況（隠蔽部分及び埋設部分を除く。）		○				
(5)	切替回路	常用の電源から蓄電池設備への切替えの状況		○				
(6)		蓄電池設備と自家用発電装置併用の場合の切替えの状況		○				
4	電池内蔵形の蓄電池							
(1)	配線及び充電ランプ	充電ランプの点灯の状況			○			
(2)		誘導灯及び非常用照明兼用器具の専用回路の確保の状況			○			
5	電源別置形の蓄電池							
(1)	蓄電池	蓄電池等の状況	蓄電池室の防火区画等の貫通措置の状況	○				
(2)			蓄電池室の換気の状況	○				
(3)			蓄電池の設置の状況	○				
(4)		蓄電池の性能	電圧	○				
(5)			電解液比重	○				
(6)			電解液の温度	○				
(7)		充電器	充電器室の防火区画等の貫通措置の状況	○				
(8)			キュービクルの取付けの状況	○				

[注]この検査結果表は、対象となる建物ごとに作成してください。

検査者が1人の場合は、記入は不要です。

Ｈ29.6.2　告示改正でLED球が追加された。

Ｈ28.12.16　告示改正で「後付が可能な予備電源内蔵コンセント型照明器具」が追加されました（同日施行）。

２（２）は、＜別表　４＞を添付してください。

検査した結果、要是正の指摘がある場合には、「要是正」の欄に○印を記入し、特記事項の欄にその内容等を記入してください。

＊要是正とされた検査項目等（既存不適格の場合は除く）については、要是正とされた部分の写真を、別添の様式に従い添付してください

３（６）昭和４５年建告第１８３０号の改正される以前は、非常用の照明装置の予備電源として１０秒始動の自家用発電装置の単独設置が認められていましたが、平成１２年６月１２日より自家用発電装置の単独設置はできなくなりました。非常用の照明装置の予備電源は、即時点灯が可能なものでなければなりません。告示、施工以前の単独設置の自家用発電装置は、蓄電池を併用することが望まれます。

検査した結果、指摘が無ければ、「指摘なし」の欄に○印を記入してください。

該当しない検査項目がある場合は「対象外項目」の欄に○印を記入してください。

[注] 電池内蔵形の蓄電池における要是正等の主な事例とその記入例です。

①電球が取り外されている場合（電球切れも含む）

1	照明器具
(1)	使用電球、ランプ等
2	電池内蔵形の蓄電池、電源別置形の蓄電池及び自家用発電装置
(1)	予備電源への切替え及び器具の点灯の状況（予備電球等で確認した場合を除く）
(3)	照度の状況（照度が確保されていない場合）
4	電池内蔵形の蓄電池
(1)	充電ランプの点灯の状況（充電ランプが不点灯の場合）

「要是正」の欄に○印を記入してください。

②バッテリー不良又は器具不良の場合

2	電池内蔵形の蓄電池、電源別置形の蓄電池及び自家用発電装置
(1)	予備電源への切替え及び器具の点灯の状況（予備電球等で確認した場合を除く）
(3)	照度の状況（照度が確保されていない場合）
4	電池内蔵形の蓄電池
(1)	充電ランプの点灯の状況（充電ランプが不点灯の場合）

「要是正」の欄に○印を記入してください。

③配線不良の場合

2	電池内蔵形の蓄電池、電源別置形の蓄電池及び自家用発電装置
(1)	予備電源への切替え及び器具の点灯の状況（予備電球等で確認した場合を除く）
(3)	照度の状況（照度が確保されていない場合）

「要是正」の欄に○印を記入してください。

一般財団法人　なら建築住宅センター

番号	検査項目			対象外項目	検査結果 指摘なし	検査結果 要是正	検査結果 既存不適格	担当検査者番号
6	**自家用発電装置**							
(1)	自家用発電装置	自家用発電装置等の状況	自家用発電機室の防火区画等の貫通措置の状況	○				
(2)			発電機の発電容量	○				
(3)			発電機及び原動機の状況	○				
(4)			燃料油、潤滑油及び冷却水の状況	○				
(5)			始動用の空気槽の圧力	○				
(6)			セル始動用蓄電池及び電気ケーブルの接続の状況	○				
(7)			燃料及び冷却水の漏洩の状況	○				
(8)			計器類及びランプ類の指示及び点灯の状況	○				
(9)			自家用発電装置の取付けの状況	○				
(10)			自家用発電機室の給排気の状況（屋内に設置されている場合に限る。）	○				
(11)			接地線の接続の状況	○				
(12)			絶縁抵抗	○				
(13)		自家用発電装置の性能	電源の切替えの状況	○				
(14)			始動の状況	○				
(15)			運転の状況	○				
(16)			排気の状況	○				
(17)			コンプレッサー、燃料ポンプ、冷却水ポンプ等の補機類の作動の状況	○				
7	**上記以外の検査項目等**							

特記事項

番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善（予定）年月
2 －（ 3 ）	**照度の状況**	**球劣化による照度不足**	**球交換**	令和 ○ 年 5 月
－（　）				令和　年　月
－（　）				令和　年　月
－（　）				令和　年　月
－（　）				令和　年　月
－（　）				令和　年　月
－（　）				令和　年　月

該当しない検査項目がある場合は「対象外項目」の欄に○印を記入してください。

特定行政庁が定める検査項目等の追加が無いので、記入不要です。

検査の結果、要是正の指摘があった場合は、全ての検査項目について記入してください。
（記入欄が不足する場合は、特記事項別紙に記入し、添付してください）

改善予定年月を記入してください。

改善策の内容等を記入してください。

具体的な内容、状態を記入してください。

検査項目を記入してください。

その他の報告として特記すべき事項がある場合は記入してください。
（その場合、番号、検査項目の欄は記入しないでください）

検査項目番号を記入してください。

別表４　非常用の照明装置の照度測定表（Ａ４）

一般財団法人　なら建築住宅センター

[注]このページは記入例であり、他のページとの整合性はありません。

※別表４は毎回測定が必要です。

測定年月日	令和　〇年　〇月　〇〇日	; 〇〇〇〇	型式番号等	△△△△
光源の種類	最低照度の測定場所		最低照度（lx）	判定
	階	部屋・廊下等		
白熱灯	2	Ｄ室	0	指摘なし　・　要是正
蛍光灯	2～3	階段踊り場	10	指摘なし　・　要是正
LEDランプ（自動検査機能なし）	3	Ｇ室	25	指摘なし　・　要是正
LEDランプ（自動検査機能あり）				指摘なし　・　要是正
その他（　　）				指摘なし　・　要是正

光源の種類別に下段（別紙）の中から最低照度を記入してください。

（別紙）

階別	測定場所	測定位置*注1	光源の種類*注2	照度（lx）*注2	判定
1	Ａ室	出入口付近	白熱灯（内）	7	指摘なし　・　要是正
1	Ｂ室	室中央	白熱灯（内）	5	指摘なし　・　要是正
2	Ｃ室	出入口付近	白熱灯（内）	8	指摘なし　・　要是正
2	Ｄ室	室中央	白熱灯（内）	0	指摘なし　・　要是正
3	Ｅ室	出入口付近	白熱灯（内）	3	指摘なし　・　要是正
3	Ｆ室	室中央	白熱灯（内）	4	指摘なし　・　要是正
3	Ｇ室	室中央	LEDランプ（自動検査機能無し）	25	指摘なし　・　要是正
1～3	階段	踊り場	蛍光灯（内）	15	指摘なし　・　要是正
2～3	階段	踊り場	蛍光灯（内）	10	指摘なし　・　要是正

最低照度の測定場所及び最低照度等は、建物全体で判定をし、測定場所が複数ページにわたる場合は、最初のページのみに記入してください。次のページからは下段(別紙)の欄のみ記入してください。

測定場所とは、廊下・階段・非常用エレベーターホール及び居室の出入口等の避難行動上重要な場所を対象に測定してください。

建物の階数、規模等による測定箇所数に決まりはありませんが、検査者の判断により適切な箇所数を測定してください。

注 1）　「測定位置」欄には、「出入口付近」、「右壁中央付近」のように明記する。

注 2）　「光源の種類」欄には、白熱灯、蛍光灯、LEDランプ（自動検査機能無し）、LEDランプ（自動検査機能あり）、その他の別及び電池内蔵のものにあっては、（内）と付す。

注 3）　「照度」欄には、自動検査機能を有していない場合は、照度の値(lx)を記入し、自動検査機能を有するものにあっては、「-」を記入する。

別添様式　関係写真（Ａ４）

[注]要是正等がない場合は、この様式は添付する必要はありません。

関係写真（非常用の照明装置）

部位	番号	検査項目等	検査結果
	２（２）	**照度の状況**	☑要是正　□その他

特記事項

非常照明の球劣化による照度不足

「レ」点マークを入れて下さい。

指摘の具体的内容等を記入してください。

検査項目を記入して下さい。

検査項目番号を記入して下さい。

部位	番号	検査項目等	検査結果
			□要是正　□その他

特記事項

（注意）

① この書類は、検査の結果「要是正」かつ「既存不適格」ではない項目等について作成してください。また、「既存不適格」及び「指摘なし」の項目等についても、特記すべき事項があれば、必要に応じて作成してください。「要是正」の項目等がない場合は、この書類は省略しても構いません。

② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。

③ 「部位」欄の「番号」、「検査項目等」は、それぞれ別記第一号様式から第四号様式の番号、検査項目等に対応したものを記入してください。

④ 「検査結果」欄は、検査の結果、要是正の指摘があった場合は「要是正」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、それ以外の場合で特記すべき事項がある場合は「その他」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。

⑤ 写真は、当該部位の外観の状況が確認できるように撮影したものを添付してください。

５　「3年以内ごとに行う検査項目の年度別実施状況表」について

3年以内ごとに行う検査項目の年度別実施状況表

一般財団法人　なら建築住宅センター

赤字は令和7年7月1日施行

※1年目から3年目までの検査（実施・予定）箇所で該当する枠内のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。

種類		各建築設備検査結果表における検査項目番号及び検査項目		1年目検査実施箇所（○○　○年　○月実施）	2年目検査（実施・予定）箇所（○○　○年　○月実施）	3年目検査（実施・予定）箇所（○○　○年　○月実施）
換気設備	評価1）表（別表	1(10)　各居室の換気量 1(11)　中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況	該当無	全数を実施 実施せず レ 一部実施（次年に繰り越し） 〈一部実施は実施箇所を下欄に記入〉 １階Ａ室　１階Ｂ室	全数を実施 実施せず レ 一部実施（次年に繰り越し・当年で全数実施） 〈一部実施は実施・予定箇所を下欄に記入〉 ２階Ｃ室　２階Ｄ室	全数を実施 実施せず レ 一部実施（当年で全数実施） 〈一部実施は実施・予定箇所を下欄に記入〉 ３階Ｅ室　３階Ｆ室
	室内環境測定記録	1(17)　各居室の温度 1(18)　各居室の相対湿度 1(19)　各居室の浮遊粉塵量 1(20)　各居室の一酸化炭素含有率 1(21)　各居室の二酸化炭素含有率 1(22)　各居室の気流	レ 該当無	全数を実施 実施せず 一部実施（次年に繰り越し） 〈一部実施は実施箇所を下欄に記入〉	全数を実施 実施せず 一部実施（次年に繰り越し・当年で全数実施） 〈一部実施は実施・予定箇所を下欄に記入〉	全数を実施 実施せず 一部実施（当年で全数実施） 〈一部実施は実施・予定箇所を下欄に記入〉
排煙設備	機械排煙	1(18)　排煙口の排煙風量 1(19)　中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況	該当無	全数を実施 実施せず レ 一部実施（次年に繰り越し） 〈一部実施は実施箇所を下欄に記入〉 １階Ａ室　１階Ｂ室	全数を実施 実施せず レ 一部実施（次年に繰り越し・当年で全数実施） 〈一部実施は実施・予定箇所を下欄に記入〉 ２階Ｃ室　２階Ｄ室	全数を実施 実施せず レ 一部実施（当年で全数実施） 〈一部実施は実施・予定箇所を下欄に記入〉 ３階Ｅ室
	特殊な構造の排煙	風量測定記録表（別表３） 1(37)　排煙口の排煙風量 1(38)　中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況	レ 該当無	全数を実施 実施せず 一部実施（次年に繰り越し） 〈一部実施は実施箇所を下欄に記入〉	全数を実施 実施せず 一部実施（次年に繰り越し・当年で全数実施） 〈一部実施は実施・予定箇所を下欄に記入〉	全数を実施 実施せず 一部実施（当年で全数実施） 〈一部実施は実施・予定箇所を下欄に記入〉

※一部実施は実施箇所が解る図面を添付

初年度（令和　○年度）～終年度（令和　○年度）　　建築物名称　○○○福祉センター　　台帳番号　奈Ｂ－００００

［注］このページは記入例であり、他のページとの整合性はありません。

※「3年以内ごとに行う検査項目の年度別実施状況表」で報告年度が２年目の場合の記入例を示します。

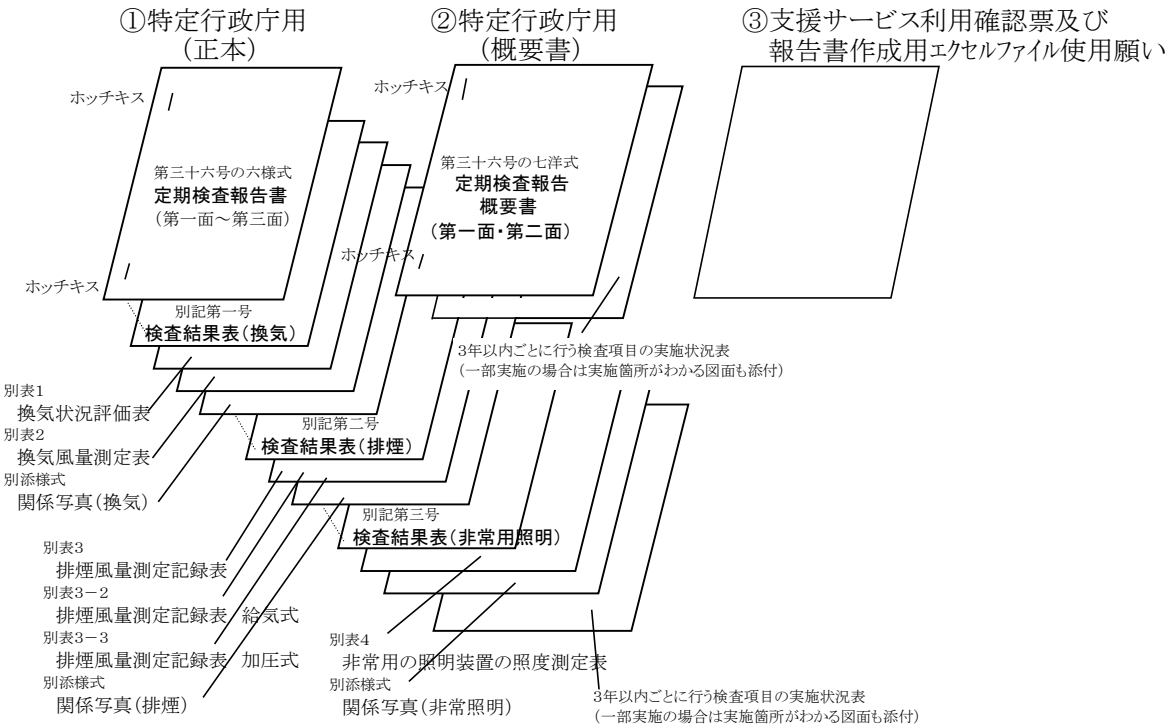
３年のサイクルは
・Ｈ１９年度（Ｈ２０．３．３１）までに竣工した建物
・Ｈ２０年度（Ｈ２０．４．１）以後に竣工した建物
・法改正で報告対象になった建物
で決まります。
詳細は（一財）なら建築住宅センターまでお問い合わせください

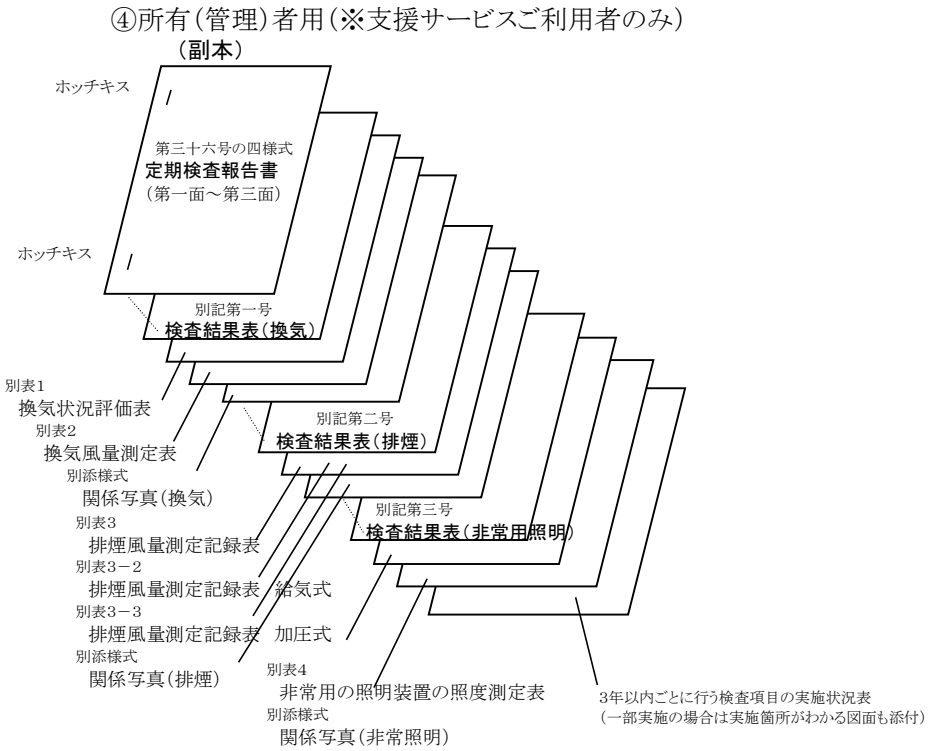
6　定期検査報告書の綴り方について

（１）敷地内に対象となる建築物が１棟の場合

①～③を全て提出してください。

※④については、支援サービスのご利用者のみ提出してください。





支援サービスの詳細につきましては、
なら建築住宅センターのホームページをご覧ください。

（2）敷地内に対象となる建築物が複数棟の場合

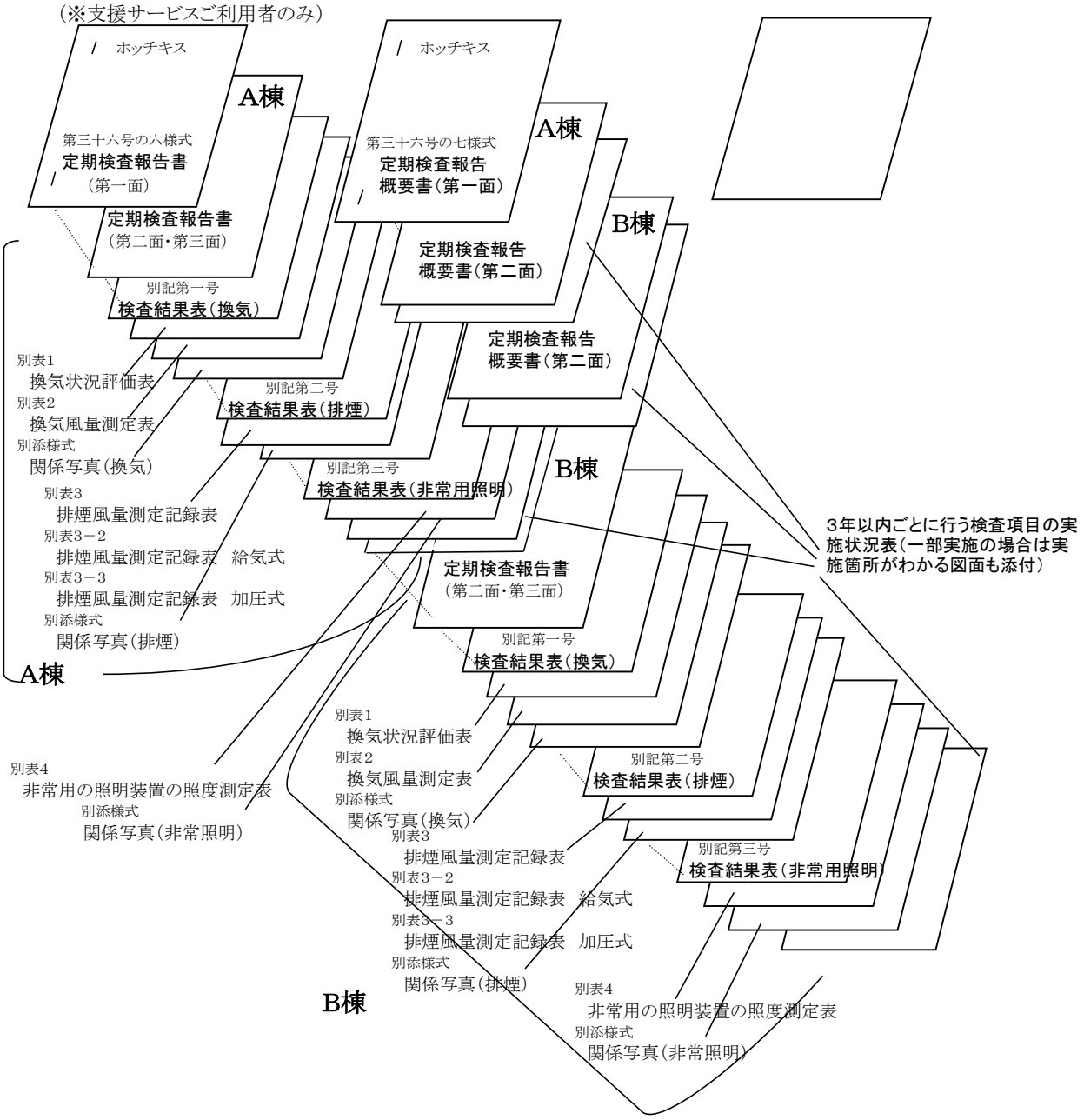
①～③を全て提出してください。

※④については、支援サービスのご利用者のみ提出してください。

①特定行政庁用×1部
④所有（管理）者用×1部
（※支援サービスご利用者のみ）

②特定行政庁用×1部

③支援サービス利用確認票
報告書作成用ｴｸｾﾙﾌｧｲﾙ使用願い



支援サービスの詳細につきましては、
なら建築住宅センターのホームページをご覧ください。

定期検査報告書の作成について（建築設備編）令和７年７月

平成 30 年６月　定期報告に関する記載方法（建築設備）改訂版
令和　１年５月　定期報告に関する記載方法（建築設備）改訂版
令和　１年７月　定期報告に関する記載方法（建築設備）改訂版
令和　２年４月　定期報告に関する記載方法（建築設備）改訂版
令和　３年１月　定期報告に関する記載方法（建築設備）改訂版
令和　４年４月　定期検査報告書の作成について（建築設備編）
令和　５年４月　定期検査報告書の作成について（建築設備編）改訂版
令和　６年４月　定期検査報告書の作成について（建築設備編）改訂版
令和　７年７月　定期検査報告書の作成について（建築設備編）改訂版

発行　一般財団法人　なら建築住宅センター
〒630-8131　奈良市大森町 57 番地３　奈良県農協会館５階
電話 0742-27-8633　ＦＡＸ0742-20-6066